

第299回教育研究評議会議事要録

1. 日時 平成30年3月20日(火) 13:30~16:50
2. 場所 事務局棟 第2会議室
3. 出席者 中井学長、中田理事・副学長、三浦理事・副学長
若井理事・事務局長、真田副学長、千葉副学長
朝賀人間発達文化学類長、谷評議員、中村評議員
鈴木行政政策学類長、田村評議員、垣見評議員
佐野経済経営学類長、伊藤評議員、吉川評議員
二見共生システム理工学類長、佐藤評議員、山口評議員
初澤うつくしまふくしま未来支援センター長
難波環境放射能研究所長
【オブザーバー】生源寺農学系教育研究組織設置準備室長
上井監事

4. 欠席者 小沢理事・副学長

5. 議事

【確認事項】

第298回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 改訂版「福島大学教育改革ビジョン2019」について(戻り報告)

各学類長から、第297回教育研究評議会(2月20日開催)において審議され、各学類教員会議に意見聴取していた標記について、各学類教員会議における意見聴取の結果について戻り報告があった。

朝賀人間発達文化学類長から、教員配置に関する財源確保の見通し及び学類教育も含めた全学教員配置に向けた検討への要望、授業の開講方法等、教学IRとしての集積データ収集及び分析関係等について意見が出されたことの報告があった。

鈴木行政政策学類長から、各論の質問が多く出され、特徴的なものとして、スタートアップセミナーの今後の進め方、社会人教育の支援体制及び教職員の配置、内部質保証システム整備に伴うラーニング・ポートフォリオの取扱い、GPA制度厳格化の必要性、ICT環境の整備方針、全学教育責任分担体制の非常勤講師授業開講数の節減及び今後の検討等について、意見及び要望が出

されたことの報告があった。

佐野経済経営学類長から、全学教育責任分担体制について、不均衡な配置の是正要望、全学教育責任分担制度の毎年度の見直しによるカリキュラム構築の不安定化に対する懸念、専門化保障分の運用体制等について意見が出されたことの報告があった。

二見共生システム理工学類長から、全学教育責任分担体制の各学類における負担内容詳細の提示要望、教育改革内容の周知に向けた方策等について意見が出されたことの報告があった。

以上の戻り報告を受け、三浦理事・副学長から、全学教育責任分担体制について全学教育改革本部会議としても不均衡であることは認識しているため、今後も継続的に検討を進めていくこととする旨、発言があった。ただし、学類責任分担表は、平成31年度開始時点の分担としており、学生の受講動向及び単年度の不均衡を均等化するため毎年調整を行うこと、根本的な課題は、共通教育定員の不均衡な配置によるものであるが、時間的制約から抜本的な改革案とすることができないため、第4期中期目標中計画期間の課題として位置付けていくことについて説明があった。引き続き、教員の配置に関すること、非常勤講師の削減、個別授業の運営方法、内部質保障体制について説明があった。

質疑応答の中で、全学教育責任分担体制の再検討要望、専門化保障分の傾斜配分の内容等について意見が出され、三浦理事・副学長から、全学教育責任分担制度について現段階の案での承認が難しい場合には、継続審議とさせていただきたいとの発言があった。

審議の結果、全学教育責任分担一覧の部分についてのみ継続審議とし、今後、各学類長にも協力をいただきながら全学教育改革本部会議において検討し、改めて教育研究評議会に提案すること、それ以外の部分については、第297回教育研究評議会（2月20日開催）において提案した要点に基づき、原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

（2）新たな教員評価制度について（戻り報告）

各学類長から、第298回教育研究評議会（3月6日開催）において審議され、各学類教員会議に意見聴取していた標記について、各学類教員会議における意見聴取の結果について戻り報告があった。

朝賀人間発達文化学類長から、評価の客観性・妥当性に対する疑義、評価制度のマイナスの側面に対する懸念、拙速な導入に対する懸念等について意見が出されることについて報告があった。

鈴木行政政策学類長から、評価項目の設定過程に関する質問、目標設定の

重要性、 エフォート制度の取扱い、 大学運営に対する評価システムの有無等について意見が出されたことの報告があった。

佐野経済経営学類長から、 4 領域全てに一定の活躍を求める根拠、 研究の評価基準としての「研究の質」の重要性、 研究領域について学系へ答申を求める必要性、 獲得ポイントの基準等について意見が出されたことの報告があった。

二見共生システム理工学類長から、 各評価項目に適用される業績の詳細な説明の要望等について意見が出されたことの報告があった。

以上の戻り報告を受け、 中田理事・副学長から、 各学類からいただいた意見のうち評価項目及びポイントのあり方等に関するものについては、 今後自己評価委員会で行う教員評価マニュアル作成の作業過程で可能な範囲において反映させることとし、 今回は、 新たな教員評価制度の導入の方向性について確認したい旨、 改めて説明があった。

質疑応答の中で、 提案文書中の「導入の方向性」として確認すべき範囲、 各学類から出された意見に対し回答文書で確認を求める等の意見が出され、 また、 今後の教員評価マニュアル作成にあたり、 獲得ポイント上限設定基準の明確化について要望が出された。

上井監事から、 社会情勢や国の施策に対応して評価結果の処遇反映に係る全学議論が必要であること、 各学類において教員評価部会による教員評価の具体的検討を求めることについて発言があった。

審議の結果、 継続審議とし、 各学類教員会議での意見及び今回出された意見等への回答については、 次回教育研究評議会（4月17日開催予定）において回答文書により確認することとした。

（3）平成30年度国立大学法人福島大学年度計画について

中井学長から、 資料3に基づき、 平成30年度国立大学法人福島大学年度計画について提案があり、 審議の経過及び年度計画の概要等について説明があった。引き続き、 若井理事・事務局長から、 予算、 財産譲渡、 施設・整備に関する計画等について説明があり、 中田理事・副学長から、 人事に関する計画について説明があった。

審議の結果、 原案のとおり承認された。

各学類教員会議へ、 教員控室に資料掲示の上、 報告することとした。

（4）学内規則等の制定について

中田理事・副学長から、 資料4に基づき、 以下の学内規則等の制定について提案があり、 各規則等における主な改正理由及び改正箇所の詳細等について説明があった。

福島大学受託研究取扱規則

福島大学共同研究取扱規則

福島大学学術振興基金規則

審議の結果、原案のとおり承認され、各学類教員会議へ、教員控室に資料揭示の上、報告することとした。

【報告事項】

(1) 経営協議会学外委員について

中井学長から、資料5に基づき、来年度からの経営協議会学外委員について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料揭示の上、報告することとした。

(2) 平成30年度学類の年度計画について

中井学長から、資料6に基づき、平成30年度学類年度計画の概要について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料揭示の上、報告することとした。

(3) 運営費交付金（教員人件費）による特任教員制度の運用について

中田理事・副学長から、資料7に基づき、現行の特任教員制度について見直しを行い、「運営費交付金（教員人件費）による特任教員制度の運用について」の整備を行ったとの報告があり、運用の目的、適用範囲、職種、職務、採用対象者等について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料揭示の上、報告することとした。

(4) 就業規則の一部改正について

中田理事・副学長から、資料8に基づき、国家公務員給与法等改正に準拠した職員給与関係規則の一部改正、申出手続きの明瞭化に係る職員育児休業関係及び組織改編に伴う金谷川事業場過半数代表・代表委員関係規則の一部改正（平成30年4月1日付改正分）について、過半数代表者からの意見書に基づく役員会での最終審議結果の報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料揭示の上、報告することとした。

(5) 平成29年度COC事業報告及び学内評価について

三浦理事・副学長から、資料9に基づき、平成29年度COC事業内容について報告があり、引き続き、役員及び各学類長へ学内評価の実施を依頼する旨、説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(6) 平成30年度予算配分について

若井理事・事務局長から、資料10に基づき、平成30年度収入予算額、平成30年度支出予算配分額について報告があり、予算の概要及びポイントについて説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示のうえ、報告することとした。

(7) 平成30年度学長裁量経費（機能強化対応経費）等の配分について

中井学長から、資料11に基づき、平成30年度学長裁量経費（機能強化対応経費）等の配分について報告があり、引き続き、若井理事・事務局長から、配分に関する詳細等について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(8) 福島大学寄附講座に関する規程の制定について

塘副学長補佐から、資料12に基づき、福島大学寄附講座に関する規程を制定したことについて報告があり、制定理由、規程内容、手続きに関する手順等について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示のうえ、報告することとした。

(9) 福島大学ABS管理規程の制定について

塘副学長補佐から、資料13に基づき、福島大学ABS管理規程を制定したことについて報告があり、制定理由、規程内容、対応に関する手順等について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示のうえ、報告することとした。

(10) 平成29年度研究倫理教育の実施状況について

縣研究振興課長から、資料14に基づき、平成29年度の研究倫理教育実施状況について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示のうえ、報告することとした。

(11) 入試の全学的統一体制の進め方について

真田副学長から、資料15に基づき、第293回教育研究評議会（平成29年12月5日開催）において承認された「入試の全学的統一体制の進め方」について、現段階の進捗状況として、各入学者選抜方法における学力の評価項目を示すマトリックス案の作成が当初方針から遅れていること、全学的な出題協力体制に

一部変更が生じたこと等について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示のうえ、報告することとした。

(12) 国際交流センター特任教員（特任准教授）の採用について

真田副学長から、資料16に基づき、平成30年4月1日付けで国際交流センター特任教員（特任准教授）を採用すること及び国際交流センター教員審査委員会及び国際交流センター運営会議における選考内容について報告があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示のうえ、報告することとした。

(13) 平成29年度期末監事監査実施計画について

中井学長から、資料17に基づき、平成29年度期末監事監査実施計画が監事から学長へ提出されたことについて報告があった。引き続き、上井監事から、期末監事監査の期日、実施部局、監査の方針、監査項目、ヒアリング日程等について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(14) その他

・来年度の会議スケジュールについて

中井学長から、資料18に基づき、来年度の会議スケジュールについて報告があった。

・退任者挨拶

中井学長から、今年度で教育研究評議会評議員を退任する委員の紹介があり、退任する委員から挨拶があった。